

学校教育目標	未来に向かって 学び続ける	経営理念	<誇れる乃美尾小教育の創造> 【めざす学校像】 感動のある学校～楽しい・やさしい・元気な学校～ 【めざす児童像】 豊かな感性をもち、のびゆく子 「自ら学び 粘り強く取り組む子」「人や環境を大切にし 感謝できる子」 「命を大切にし 健康で安全な行動ができる子」 【育てたい資質・能力】『言葉の力』『思考力』『主体性』『感性』 【めざす教職員像】 教育のプロとしての自覚と誇りをもつ教職員 「子供に寄り添い、学び続ける教職員」「組織の一員として協働する教職員」「信頼される教職員」
--------	---------------	------	---

評価計画						自己評価				学校関係者評価		改善方策	
項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目	達成値		達成度	評価	結果と課題の分析	評価	コメント	改善方策
						10月	2月						
確かな学力	1	○基礎学力の向上と主体的に学習に取り組む態度の育成	○児童一人一人の伸びを見据えた基礎学力の向上 ○主体的に学び「わかる」「できる」喜びを感じる算数科の授業改善 ○学びに向かう意欲の向上	・問題解決学習型の授業のモデル化 ・ノート・板書の書き方の統一 ・多様な数学的表現の場の設定 ・「めあて」と「まとめ」の整合性 ・はなまる朝会での算数科スキルの向上 ・学力が低位・中位の抽出児童の実態把握 ・「サポートシート」の作成 ・低位・中位の児童のつまずき解消のための具体的な手立て ・協働的な学び合いの場の設定	・算数科単元末テストで、到達率70%以上の児童の割合 ・標準学力調査において、全国正答率よりも20%以下の児童の割合 ・学ぶ喜びを感じた児童の割合	85%以上	20%以下	85%以上					
豊かな心	2	○ルールやマナーを守り、人や環境にやさしい児童の育成	○東広島スタンダードを基盤とした生活重点目標の習慣化と徹底	・月一回の朝会での啓発活動。 ・一斉下校時の確認と評価。 ・大休憩後の確認と評価。 ・前期・後期のあいさつ名人の表彰。 ・登下校時のあいさつ指導。 ・下駄箱の靴がいつもそろっている学級や児童を紹介する。また、トイレスリッパのそろい具合を数値化し、放送で紹介し、全校でできたことの喜びを共有する。 ・児童会と連携し、児童自らの取り組みとして活動させ、評価させるような工夫をしていく。	・元気なあいさつ、返事ができる児童の割合 ・はきものをそろえることができる児童の割合 ・「あいさつや返事ができている」「学校や家庭の約束(きまり)を守って生活している」(保護者アンケート)の肯定的評価	80%以上	90%以上	80%以上					
健やかな体	3	○命を大切に、安全な行動と、健康でバランスのとれた体力・運動能力を向上させようとする意欲と実践力の育成	○粘り強く体を鍛えることにより、体力・運動能力の向上を図る。 ○外遊びの励行	・毎月、進行状況を報告し啓発 ・年間を通して、体育科の授業等で縄跳び(前跳び)の実施 ・自発的に外で遊べる時間を設定 ・体育朝会及び遊び朝会で遊具や運動具に親しむ機会の確保 ・体育朝会で日頃の練習の成果を披露する場の設定(縄跳び) ・縄跳びチャレンジウィークの実施 ・達成者の掲示や放送での紹介	・縄跳び前跳び(低…30秒間、中…1分間、高…1分30秒間)跳び続けられる児童の割合 ・休憩時間に外遊びする児童の割合 ・「運動や外遊びができています」(保護者アンケート)の肯定的評価	80%以上	90%以上	80%以上					
学校づくり	2	○信頼される学校づくり	○保護者・地域連携と学校の取組の積極的発信	・コミュニティスクールとしての使命と取組の充実 ・地域や保護者へのタイムリーな情報発信	・学校と地域との連携・活動の実施 ・月1回の発行とHPの更新	4回以上	月1回以上						
			○働き方改革の推進	・授業の充実、子供と向き合う時間の確保のための業務改善や働き方の見直し ・退校時刻と時間外勤務短縮の意識化	・業績評価における教職員自己評価平均	3以上							

※目標の精選と重点化を行い、重点の項に「1」「2」「3」で表示する。

■自己評価

4...目標を上回って達成 3...目標どおりに達成
 2...目標をやや下回って達成 1...目標をかなり下回って達成

■学校関係者評価

A...とても適切である B...概ね適切である
 C...あまり適切でない D...全く適切でない
 (N...判定できない)